## 枚岡合金工具株式会社

発信の仕えて 大利:持核了3! 瀕死状態だった会社が35活動で復活 売上アップ、社員のモチベーションもアップしました

父が東大阪の枚岡神社近くで創業し、兄が継ぎ、私が3代目になります。バブルの時には従業員9名で月4000万円もの売上があったのですが、バブル崩壊とともに売上も激減。まじめにコツコツやっていれば大丈夫だと思っていましたが、気づいた時には会社は瀕死状態でした。平均年齢も57歳。10年後も存在しているのか?と考えても答えは明白で、おそらく続

いていないでしょう。今、会社を変えなければ と当時、社長をしていた兄があちこちの勉強会 に参加するなか、たどり着いた答えが「35活動」 でした。35とは、整理、整頓、清掃です。

ただ、技とカンで働いてきた職人に 35 を求めても反発は大きく、衝突することもたびたび。乗り越えるには 5 年かかりましたね。それでも35をやってよかったと本当に思います。35活動

で社員のモチベーションがあがり生産クオリティがアップ、結果、本業の金型注文が増え、 売上拡大。さらに、情報の35として開発した独 自システム「デジタルドルフィンズ」も、今では 売上の3割を占めるなど、新事業を立ち上げる こともできました。

社風や会社独自の文化というものは、お金 では買えません。それが築ければ、オンリーワン になれるんです。自社のドメイン、つまり組織をブラッシュアップすれば、必ず会社の価値はあがるはずです。そのために、35を社内に取り入れ、実践していくことが中小企業の生き残る道だと思います。